



2024年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社サイバーセキュリティクラウド  
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘  
(コード番号：4493 東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 倉田雅史  
(TEL. 03-6416-9996)

### 2024年12月期 第2四半期決算に関するQ&A掲載のお知らせ

当社は、2024年12月期 第2四半期決算に関するQ&Aを掲載いたしましたので、お知らせいたします。

#### 売上高の「その他収益」が大幅に減少している要因は？

1Qにデジタル庁の案件（約70百万円）を計上したことが大きな要因です。加えて、例年1Qは多くの企業にとって年度末にあたるため、「脆弱性診断サービス」などの「その他収益」が増加する傾向にあり、1Qは過去最高の受注金額を記録しました。2Qではその影響がなくなったため前四半期から大幅な減少がみられましたが、受注規模自体は例年並みであり一時的な変動であると捉えています。

#### 売上総利益率が1Q:72.4% → 2Q:66.9%へと低下した要因は？

今期の1Qの売上総利益率は、デジタル庁の案件が寄与したことにより昨年通期（69.8%）と比較して非常に高い水準となりました。一方今期の2Qは、昨年通期に比べて売上総利益率が低下しておりますが、開発加速に向けた業務委託人員の追加や、新規機能開発や検証に伴うインフラコストの上昇などが影響しております。

#### 下半期（2024年7月～12月）は主にどのような投資を行うか？

下半期は継続して国内外のカンファレンスに参加するなど、グローバルでの成長を加速させることを目的とした投資を機動的に行います。さらに、総合的なPRプロモーション活動を強化し、当社製品のブランド認知度を高めることにも注力することで、長期的な競争力の強化と市場でのプレゼンス向上を目指してまいります。

### 為替変動に伴う影響は？

AWS Marketplace 経由の製品販売及び海外での直接販売の売上高は、外貨ベースで計上されているため、為替レートの変動が収益に影響を与える可能性があります。また、売上原価に含まれるサーバーコストや、米国子会社における人件費なども為替の影響を受けるため、為替動向に注視しながら影響を最小限に抑えるための対策を継続して検討してまいります。

### WafCharm の ARR が増加しているにも関わらず、ユーザー数が減少した要因は？

料金プラン刷新（2023年6月）の際に単価の低いエントリープランの新規受付を停止したことに伴い、新規受注の数は昨年比で減少していますが、新規受注の金額は堅調に推移しております。また解約についても単価の低いエントリープランのユーザーが複数いたため、その結果、ARRは増加したもののユーザー数が減少いたしました。なお、料金プランの刷新より前からご利用いただいているユーザーに対しても、2024年8月より価格改定を実施しており、ARRを着実に積み上げられるよう、営業活動の強化及びユーザー体験の向上を図っていく予定です。

### 攻撃遮断くん及びWafCharmのARRの鈍化要因は？

CloudFastenerの提供開始に伴うプロダクトポートフォリオの変化により、既存プロダクトである攻撃遮断くん及びWafCharmの新規顧客営業に割く人員が減少いたしました。また、エンタープライズ顧客への提供価値を一層高めるためのセールス体制の変更を行っており、その過程において一時的に退職者が増加したことも一部に影響しておりますが、新たなセールス人員の採用も進んでおり、将来の成長を見据えた持続的な体制の強化に力を注ぎつつ、プロダクトの市場競争力をさらに高めていく予定です。

### CloudFastenerの拡販に向けた状況は？

2024年5月から6月に参加したカンファレンスや各種マーケティング活動の成果として、すでに複数の受注が決定しているだけでなく、富士ソフト社による『FujiFastener』の販売開始により、商談機会もさらに増加しております。今後もパートナー企業とのアライアンスを強化し、顧客基盤のさらなる拡大を目指し取り組んでまいります。

### Amazon Security Lake パートナーに認定されたことによりどんな効果が期待できるか？

Amazon Security Lake を含む AWS の認定を取得することにより、AWS Marketplace のさまざまなページに当社名やサービス名が掲載されることとなります。露出機会の増加と高い信頼性によって、世界中の AWS ユーザーが安心安全に当社プロダクトをご利用いただくことが最大のメリットです。

詳しくは、note 記事(<https://blog.csccloud.co.jp/n/n126e22d78e0b>)で当社取締役 CSO 兼 CISO の桐山が AWS のパートナー制度の位置付けを紹介していますのでご覧ください。

### 国内で増加しているセキュリティインシデントに伴う需要の変化は？

2024 年 6 月から 7 月にかけて国内で発生した複数のセキュリティインシデントにより、サイバーセキュリティへの関心が急速に高まっています。サイバー攻撃被害に不安を抱く企業向けに窓口設置や注意喚起リリースなどを通じて広く情報提供を行った結果、当社の Web サイトへのアクセス数や資料請求数はインシデント発生前と比較して約 30%増加しています。この需要の変化を的確に捉え、マーケティングおよび営業活動を強化し、新たな顧客基盤の拡大に努めています。

以 上